

編集 後記

これを執筆しております 6 月中旬は、梅雨時期だということを忘れてしまいそうな真夏日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

第72巻第 7 号も、6 つの興味深い論文が掲載されております。高齢者の口腔機能、学校保健、育児、がん対策、医療体制、住宅改修と、本号についても日本公衆衛生雑誌らしい多様なテーマとなっております。

最近、私は『文脈』を意識して本誌の論文を読むと、また色々な示唆が得られるなど感じています。「Context and Implementation of Complex Interventions framework」では、地理、疫学、文化、経済、倫理、法、政治の 7 つの文脈から公衆衛生対策を検討することが提言されています (Pfadenhauer et al. Implement Sci 2017;12(1):21)。世界中のヒトに対して研究結果の一般化を考えることも重要ですが、特定の地域の情勢といった文脈 (ストーリー) に応じた検討も重要である点が公衆衛生の面白さだと思います。自分の専門でない領域の論文について、背景や考察を理解するのは本来容易ではないことも多いかと思いますが、多様な読者が想定される本誌の論文は、当事者の視点をもとに、より分かりやすく書かれている点が魅力であり、自分の応用的な見識を広げることにつながると感じます。その点で、本号も好例と言えるかと思っています。

近年の学会総会でも学際的な演題が多くなっているように感じます。第84回日本公衆衛生学会総会でも、様々な演題を見聞きできるのではないかと期待しております。10月下旬の第84回日本公衆衛生学会総会では、過ごしやすい気候となっていることを祈っております。

なお一編集委員としましては、いつも迅速かつ丁寧な査読をしてくださる査読者の先生方には本当に助けられていると感じております。末筆ながら、査読にご協力いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

(遠又靖丈)

次号予告 (第72巻・第 8 号)**原 著**

KDB システムより把握した健康状態不明者該当の有無とフレイルの関連：大和市の悉皆調査による横断研究……………石田幸枝，他
生活保護受給者における食事の質に関連する要因……………林 慎吾

資 料

学校給食費を滞納する世帯の貧困状態：JACSIS 研究を用いた記述的研究……………田中琴音，他
日本と諸外国の減塩政策と食塩摂取量の推移の比較：ナラティブレビュー……………虎見昂輝，他
エビデンスに基づく標準化された新生児・乳児・保護者への家庭訪問の実装に向けた課題：韓国からの学び……………吉岡京子，他
児童養護施設における施設・職員特性および地域連携と業務継続計画 (BCP) 策定との関連……………中村五月，他